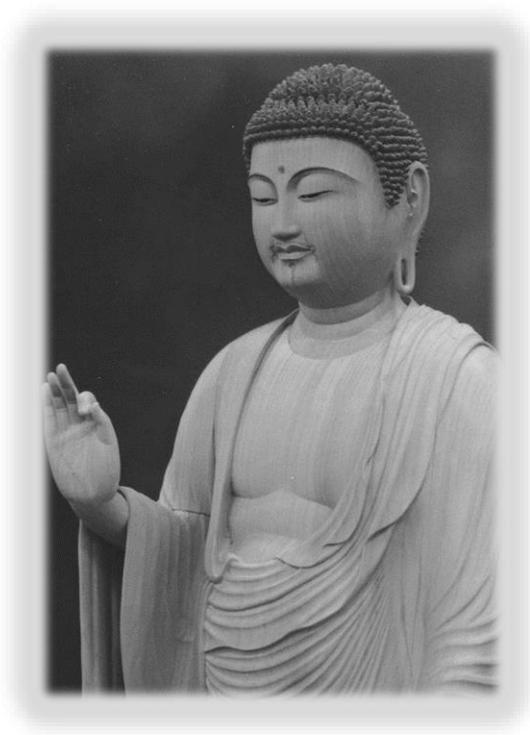


# 雅風会たより

## 第4号



### 目次

- ◆ はじめに
- ◆ 佛像彫刻作品展 二伸
- ◆ 川村先生の作品から - 螺髪 -
- ◆ ベニア板からもらったヒント
- ◆ 仏像彫刻教室から - 握り手編 -
- ◆ あ・ら・か・る・と

2021年7月10日 編集・発行 仏像彫刻「雅風会」

埼玉県所沢市狭山ヶ丘 2-2090

URL: <http://www1.cts.ne.jp/~h-1butsu/>

## ◆ はじめに

「雅風会たより」第4号発行の運びとなり、皆様のご厚情の賜物と心から御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大で思うように活動できない中、6月に延期していた「佛像彫刻作品展～一人一佛・川村雅則師を偲んで～」も開催中止を余儀なくされました。ご協力いただき楽しみにしてくださったみなさまには大変申し訳ない気持ちの一方で、ねぎらいの言葉や「コロナの終息が見えてきたら次の作品展を!」「リベンジしましょう!」という声に励まされ、次への活力が湧いてきています。

川村先生が急逝されて途方にくれた者が集まって発足した「雅風会」ですが、当初の研鑽会に教室が加わり、少しずつ同好の士も増え、仏像彫刻を楽しむ場になってきたと感じています。

記念館教室の新しい生徒さんは、「ここは見本には事欠かない」と喜んでおられます。確かに、記念館のどの作品にも基本がたくさん詰まっていて、見ればドキっとして反省することばかりです。コロナ禍が落ち着いてきて記念館にいらした時には、ぜひ教室や研鑽会にもお立ち寄りください!

今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

## ◆ 佛像彫刻作品展 二仲



作品展には、思い出の作品やお気に入りの作品、新作あり、珍しい象嵌の作品あり、如来あり、菩薩あり、天ありで、仏教美術の広さ、深さを感じることでできる作品が並ぶ予定でしたので、今回お披露目できなかったのは大変残念なことでした。

また、当初予定していなかったことに、会員の方からのご提案「作者コメントを添えてはいかがでしょうか?」がありました。

お寄せいただいた作者コメントは、

「今も川村先生と対話しながら教えを受け、先生の言葉から本当の優しさを感じ、手間を惜しまない大切さを教えられ、筋の通った生き方に裏付けられた一言一言を懐かしみ、お酒を飲んだ時の先生を「愛らしい」と表現される方も・・・、でも妙に納得です! 仏像彫刻という「無心」の世界に導かれたことへの感謝、先生独特のお褒めの表現に今も???を続け、運慶作であっても鋭い観察眼を向ける先生の一言が彫刻に現れ、「理詰め」で道理にかなった図面作成はまさに川村先生の伝授、見えない部分にも決して手を抜かない技への感動・・・」等々。

コメントをお寄せくださった皆様、作品展の開催にご尽力いただいた皆様に、心より感謝し御礼申し上げます。

作品展は開催できませんでしたが、出品予定だった作品のことやコメントの数々はお知らせしたく思い、展示目録と出品者コメントを同封させていただきます。



コロナ禍が落ち着いてきたら次の作品展でお会いできますように!

どうぞよろしく願いいたします。

◆ 川村先生の作品から - 螺髪 -



いつでも見られるように、記念館の教室のガラスケースの中に並べました。

記念館が開館して丁度一年経った夏のある日のことです。館長さんが、「こんなものがあつたの、教室で何かお役に立つかしら・・・」とお持ちになったのは、なんと「螺髪」でした。

どの仏様を彫られたときのものでしょう。大小丁寧に渦巻が彫られていて、作者の熱い心意気が伝わってきます。とても綺麗です。

◆ ベニア板からもらったヒント (佐仲 努)

重要文化財指定の菩薩像の一覧写真を見ていて、ひときわ私の目をひいた仏があつた。奈良璉城寺の観音、勢至菩薩像である。

お顔立ちがちょっと特異で、光背、台座にも特徴があるが、胸から膝にかけて垂れている瓔珞がすごく変わっている。こういうものを見せられると、つい食指が動く悪いくせがでしてしまう。

早速お寺さんを訪ねて、この二菩薩が裸形阿弥陀を中心とした三尊像の脇侍としてまつられていることを知つたが、本尊は措いて、脇侍の二菩薩のみを彫ることにした。

ご住持のご厚意で、写真撮影も許可され、二菩薩の正面写真も戴けた。また、東京国立博物館の資料館に、この二仏の正面、両側面、背面の写真があり、瓔珞の詳細も知ることができたので、これらを

基に図面を書いたが、その途中で、勢至菩薩の手が気になった。

左手は下げて蓮華を持ち、右手は肘を曲げて胸前に上げているが、印を結んでいるわけでもない掌の形が不自然に見える。そこで、両手で一本の蓮華を持つ形にしてみると、実におさまりが良くなったので、この形に変えることにした。

仕上げの最後の瓔珞は、腰前から膝にかけての飾りを作るために薄く削った板が、模様を彫り出そうとするとすぐ割れてしまう。何度試みてもダメなので、紙を使ってみた

が、模様の切り出しが容易でなく、断念した。その時ふと浮かんだのがベニア板だった。ベニア板は薄板の集合材であるが、同じ厚みの一枚板よりはるかに丈夫である。これをヒントに、二枚の薄板を、目をタテヨコにして貼り合わせると、厚みを0.8ミリ位にして彫っても割れなくなり、これで瓔珞を作ることができた。この方法は、その後の仏作りにも使っている。



◆ 仏像彫刻教室から - 握り手編 -

まず、自分の手を自然にかるく握ってみると人差し指から小指までの4本は掌に近く、親指の爪先は中指と薬指との境目に位置します。掌から指を少しずつ離していくと、蓮の茎が通るくらいの空間が現れます。更に離していくと太い棒を握れるほどの握り手の形が確認できます。



握むものによって握り手の指の形状が様々に変化します。小指や中指の形に少し変化をつけるのも良いと思います。一

本一本の指を彫り進める時に注意することは親指が一番太く、小指が一番細く他の三本の指はほぼ同じ太さになるように意識して、常に5本の指の太さ加減に違和感がないか注意深く観察することを怠らないことです。まだ少し太目かなと思われる時までは手直しができますが、細くしすぎてしまった指はもう修正ができませんので、後悔しないように常に確認しながら彫り進めましょう。



握り手の彫り方は教科書(仏像彫刻のすすめ)に丁寧に順を追って説明されているのでよく読んで習得しましょう。

今回教室用の見本として握り手の手順を作成しましたが、自分個人で楽しむものと違って見本となると最低でも70点?以上の出来でないと、見本にならないと思いかかなりの緊張感をもって仕上げました。出来具合は?? (文責:竹内)

\*\*\* あ・ら・か・る・と \*\*\*

◆ 賛助会会員の皆さまへ-令和3年度会員継続のお願い-

平素は雅風会の活動にご理解ご協力を賜り、御礼申し上げます。会員の皆様におかれましては、令和3年度(令和3年7月~令和4年6月)も引き続きご継続をいただけますよう、宜しくお願い申し上げます。

※会費の宛先については、別紙をご参照ください。

お手数ですが、9月末日までにお納めいただけますようよろしくお願いいたします。

◆ 「第58回仏教美術展」(宗教芸術院)開催のお知らせ

日時: 令和3年11月4日(木)~11月7日(日) ※4日は会場準備

場所: 京都文化会館

出品申込: 研鑽会員の方は、令和3年8月25日(水)までに岩場へお申し込みください。

賛助会員の方で出品を希望される方は、岩場までご連絡ください。

◎ 記念館における新型コロナウイルスの感染防止対策について

一日でも早くコロナ禍が終息することを願うばかりですが、まだまだ気が抜けません。

引き続き記念館へ来館(見学)される時は、事前に記念館(tel:04-2907-3903)までご連絡をお願いいたします。また、ご来館時は、マスクの着用等感染対策にご理解ご協力を宜しくお願い申し上げます。